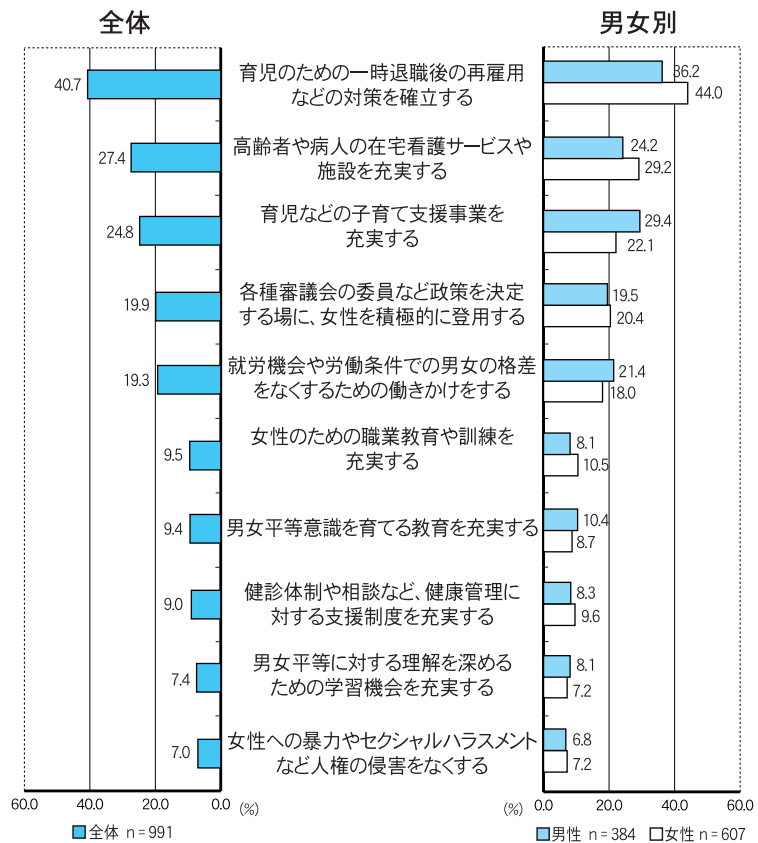




男女共同参画社会の実現に向けて、市に望むこと

図表4 男女共同参画社会の実現に向けて、市に望むこと (2つまでの複数回答)



男女共同参画社会の実現をはかるため、市ではどのようなことに力を入れていけばよいかについては、全体で多いのが「育児のための一時退職後の再雇用などの対策を確立する」の40.7%、次に「高齢者や病人の在宅看護サービスや施設を充実する」の27.4%、「育児などの子育て支援事業を充実する」の24.8%となっています。

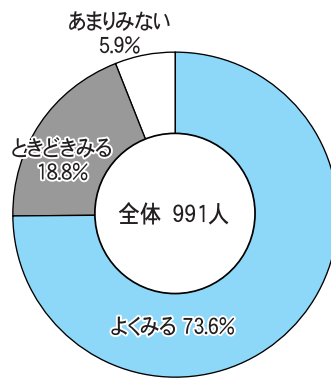


市では、皆さんからいただいたアンケート結果やご意見ご要望をもとに、「2005-2007新十和田市男女共同参画社会推進事業実施計画」を策定し、十和田市らしさを生かした男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいきます。

【が最も多く、女性は44.0%、男性は36.2%で7.8ポイント女性が上回っています。(図表4)

あなたは広報をご覧になりますか。

図表1 広報をどの程度みていますか



【よくみる】と【ときどきみる】を合わせると9割のかたがみています。(図表1)

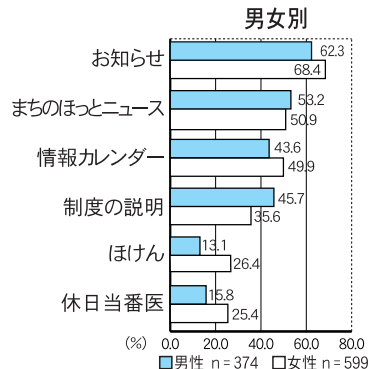
広報への意見・要望

- ◎子どもたちの写真がないのでさみしい。市民の声などをとりあげ、若い人が興味のもてるコーナーを増やしてほしい。(20代女性)
- ◎奥入瀬渓流や十和田湖について紹介してほしい。近くにありながら知らないことがたくさんある。(20代女性)
- ◎もっと市民の活動や地域の動きが見える紙面づくりをしてほしい。(30代女性)
- ◎タイムリー、旬、とっておきなど

「広報とわだ」に係るアンケートについて

特にどのコーナーをご覧になりますか。

図表2 特にどのコーナーをみますか。(3つまでの複数回答)



最も多くみているのが「お知らせ」、「まちのほっとニュース」となっています。(図表2)

今後も市民の皆さんからいただいたご意見、ご要望を参考に、だれもが読みやすく親しめる紙面づくりに努めていきます。

- ◎日々の生活(生計)少しでも楽になるよう、節税知識、医療節約対策、助成金などの知識を盛り込んでほしい。(40代女性)
- ◎毎月2回から1回にして、より内容を充実させたほうがよいのでは？(50代男性)
- ◎編集には市民も参画しているようだが、もっと市民が創る視点で作成されたら良いと思う。(60代男性)